



JICA チェアによる日越関係史「日越関係 50 年」の出版記念式典の開催

2025 年 3 月 18 日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

3 月 18 日、ハノイにて、JICA は日越関係史 50 年を包括的に紹介する教材「日越関係 50 年（1973 年～2023 年）」の出版記念式典を行いました。本教材はベトナム社会科学アカデミー 東北アジア研究所を中心とする執筆者、日越大学古田元夫学長、早稲田大学トラン・ヴァン・トゥ名誉教授の協力の下、「JICA チェア」プログラムを通じて作成されました。式典には、在ベトナム日本国大使館伊藤直樹特命全権大使、ベトナム社会科学アカデミー（以下、VASS）ダン・スアン・ティン副院長のほか、日本研究、日本語教育などに携わる研究者、教員など約 100 名が参加し、教材の贈呈が行われました。教材は今後、VASS 東北アジア研究所を通じてベトナム各地の主要大学、研究所に無料で配布され、授業や研究などに活用されることが期待されています。

式典で伊藤大使は、「2023 年に日越関係はアジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップへと進化した。今後さらに日越関係を進めていくために、本書に記された 50 年の歴史から得られた教訓が重要な羅針盤となる」と述べられました。また、VASS タイン副院長は、JICA の協力への感謝とともに、「本書は日越関係 50 年の出来事を記録するだけでなく、日越の研究者、教育者にとっても貴重な学術的資料でもある」と述べられました。

JICA は、2020 年に日本の近代化と開発途上国への開発協力から得た経験と教訓を学ぶ機会を海外にも広げることが目的とし、途上国のトップクラスの大学などを対象にした「JICA チェア」を立ち上げ、ベトナムにおいては 2021 年から事業を開始しています。VASS 東北アジア研究所が実施する日越関係史の出版プログラムはこの一環で実施されました。本教材は世界とアジアを取り巻く国際関係等の背景に留意しつつ、1973 年～2023 年までを 3 期に分け、政治・外交、経済、社会文化という観点から日越関係史の概略を記述した上で、日越関係 50 年の成功、展望と課題、政策的含意について言及しています。

ベトナムには日越関係史を包括的にまとめた入門書的な位置づけの本が存在しておらず、教材の出版はベトナムにおける日本研究リソースの拡大につながることを期待されています。

JICA は今後も様々なパートナーの皆様と連携、協力し、ベトナムにおける日本研究の推進、およびベトナムの社会経済の持続的な発展に協力してまいります。

お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 土本 周

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 166)E-mail: Tsuchimoto.Amane@jica.go.jp